

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果（河内町）

1 調査内容

- (1) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年(9学年)
 (2) 調査事項 小学校:国語・算数、中学校:国語・数学・外国語
 (3) 質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
 (4) 調査日時 令和5年4月18日(火)【19日(水)9学年外国語・質問紙調査のみ】

2 国語

(1) 成果が見られた主な設問とその趣旨	
【小6設問1一】 文章の中の下線部は、「部分」「全体」「結果」「原因」「目標」「計画」「考え」「事例」のどれについて書かれているかを選択する。	【趣旨】 原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。
【小6設問2一】 2つの資料に書かれている内容として、最も適切なものを選択する。	【趣旨】 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる。
【小6設問2二】 資料を読んで分かったことをメモにまとめる際に、その内容として最も適切なものを選択する。	【趣旨】 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができるかどうかをみる。
【中3設問1三】 相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する。	【趣旨】 話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる。
【中3設問4一】 歴史的仮名遣い「いひける」を現代仮名遣いに直す。	【趣旨】 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。
【中3設問4二】 古典の原文の中の語句「いと」に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す。	【趣旨】 古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる。

(2) 課題が見られた主な設問とその趣旨	
【小6設問1三(1)ア】 文章中の下線部を、漢字を使って書き直す。 (いがい)→(意外)	【趣旨】 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる。
【小6設問3二】 寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く。	【趣旨】 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
【小6設問3三】 聞き逃したことを相手に確かめる時の敬語の使い方として、適切なものを選択する。	【趣旨】 日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる。
【中3設問2二】 2つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する。	【趣旨】 観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる。
【中3設問3一】 レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する。	【趣旨】 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。
【中3設問4三】 現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して自分の考えを書く。	【趣旨】 文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

(3) 課題の改善に向けて	
【小6】 <ul style="list-style-type: none"> ・同音異語の漢字を練習する機会を設ける。 ・図書館で本を借りる際に、必ず1冊は文章物を借りるように声をかける。 ・条件付きで作文を書く練習をする。 ・文づくりを積み重ねて練習する機会を設ける。 	

【中3】

- ・文章の中で使われている工夫とそれによる効果について理解する必要があるので、「表現の効果」という言葉について、授業の中でより深く掘り下げる。
- ・傍線部が含まれる段落や傍線部の前後にはどのようなことが書かれているかを考える必要があるの
で、段落ごとに見出しをつける活動の意味を再確認する。
- ・「キーワードを絞る観点」「要点を見つける観点」について、再確認する。

3 算数・数学**(1) 成果が見られた主な設問とその趣旨**

【小6設問1(2)】 椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて表の数を使って書く。	【趣旨】 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる。
【小6設問2(2)】 テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く。	【趣旨】 図形を構成する要素「辺、辺の長さ、角など」を理解しているかどうかをみる。
【中3設問1】 -5、0、3、4、7、9の中から自然数をすべて選ぶ。	【趣旨】 自然数の意味を理解しているかどうかをみる。
【中3設問6(1)】 はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める。	【趣旨】 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる。
【中3設問7(1)】 1961年～1975年の四分位範囲を求める。	【趣旨】 四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる。

(2) 課題が見られた主な設問とその趣旨

【小6設問2(1)】 テープを2本の直線で切ってできた四角形の名前と、その四角形の特徴を選択する。	【趣旨】 台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。
【小6設問2(4)】 テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く。	【趣旨】 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。
【小6設問4(1)】 示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選択する。	【趣旨】 百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる。
【中3設問5】 女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める。	【趣旨】 累積度数の意味を理解しているかどうかをみる。
【中3設問6(2)】 はじめの数にかける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する。	【趣旨】 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。
【中3設問9(2)】 二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く。	【趣旨】 条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる。

(3) 課題の改善に向けて**【小6】**

- ・三角形、四角形、多角形のそれぞれの定義について、再確認する必要がある。初めての図形が出てきたときだけでなく、理解を深めたり、復習したりするとともに、自分の言葉で定義をまとめる力を付けていくために、授業で具体物を必ず使う。
- ・図形の面積を求める公式の再確認をする必要がある。それぞれの図形の底辺や高さがどこなのかを捉えることができるように、様々な問題に数多く取り組むことが必要である。そのために、授業の中で、自分の考えを言葉や数を使って説明することに、より多く取り組んでいく。
- ・割合とは何かと、割合には3つの表し方(分数・百分率・歩合)があることをもう一度確認する必要がある。日常生活との関連を意識し、具体物等を用いながら授業に取り入れていく。

【中3】

- ・度数、累積度数、相対度数、累積相対度数の意味を再確認し、それらを求める練習をする。
- ・証明の流れを理解し、定着することができるように、因数分解の方法を再度確認し、整数の性質の証明を様々なパターンで練習する機会を設ける。
- ・形式的な証明だけでなく、根拠をしっかりと見極め、仮定から結論までどのように導けばよいのかをしっかりと考える機会を設ける。

4 英語

(1) 成果が見られた主な設問とその趣旨

【中3設問1(1)】 ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する。	【趣旨】 情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる。
【中3設問3】 バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する。	【趣旨】 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。
【中3設問6】 友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する。	【趣旨】 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。

(2) 課題が見られた主な設問とその趣旨

【中3設問1(2)】 道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する。	【趣旨】 情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる。
【中3設問5(1)】 ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する。	【趣旨】 情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる。
【中3設問9(1)②】 与えられた英文を適切な形にかえたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成する。	【趣旨】 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる。

(3) 課題の改善に向けて

【中3】

- ・簡単な語句の意味を瞬時に理解し、情報を正確に聞き取るリスニング練習を繰り返し行う。
- ・毎時間、簡単な語句の確認をスペルだけでなく動きなどを入れて行う。
- ・グラフや表など、数値を扱う文章を英語で理解し、その内容を正確に読み取る練習をする。
- ・主語のまとめりや要点となる部分など、キーポイントとなる部分を、文章を読んで捉える力を育成する。

5 質問紙調査

※数値は「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」を合わせた割合(%)

①望ましい生活習慣に関する内容について

【令和5年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
朝食を毎日食べている	100%	94.1%	93.9%	88.4%	91.9%	91.2%
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	76.8%	81.7%	81.0%	83.7%	78.8%	78.0%
毎日、同じくらいの時刻に起きている	81.4%	91.1%	90.5%	90.7%	92.0%	91.3%

【調査結果と今後の取組について】

朝食接種率については、前期課程で100%となっているが、後期課程になると90%を下回り、茨城県・全国平均より低い傾向にある。起床時刻については、後期課程で「同じ時刻に起きている」と回答する生徒が多いが、前期課程で「同じ時刻に起きている」と回答する児童は後期課程に比べて低い傾向にある。就寝時刻についても、同様の結果である。今後学校では、前期課程を中心に、学級活動等の時間に養護教諭や町保健師等の外部講師を活用し、睡眠の大切さについて学習する時間を設け、健康的な生活習慣づくりに取り組んでいく。

② 自尊感情に関する内容について

【令和5年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
自分にはよいところがある	74.4%	82.1%	83.5%	86.1%	78.5%	80.0%
将来の夢や目標を持っている	86.1%	83.3%	81.5%	79.1%	68.0%	66.3%
人の役に立つ人間になりたい	95.3%	95.6%	95.9%	90.7%	94.6%	94.6%

【調査結果と今後の取組について】

「自分にはよいところがある」の調査では、前期課程よりも後期課程の方が高い傾向にある。また、「将来の夢や目標を持っている」の調査では、前期課程・後期課程とも茨城県・全国平均より高い傾向が見られる。「人の役に立つ人間になりたい」の調査では、前期課程が茨城県・全国平均と同程度、後期課程が茨城県・全国平均よりやや低い傾向になっている。学校では、前期課程のうちに「自分にはよいところがある」と思うことができるよう、体験活動等を効果的に取り入れ、豊かな心の育成やキャリア教育を推進していく。

③ 規範意識に関する内容について

【令和5年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
いじめは、どんな理由であってもいけない	97.7%	97.0%	96.9%	88.4%	95.5%	95.5%
地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う	62.8%	79.1%	76.8%	74.4%	65.4%	63.9%

【調査結果と今後の取組について】

「いじめはどんな理由があってもいけない」の調査では、後期課程より前期課程の方が高い傾向にある。学校では、いじめに関連した授業を道徳科の授業で計画的に行うとともに、すべての教育活動において、児童生徒が互いに認め合う集団づくりを今後も推進していく。「地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う」の調査では、後期課程の生徒の意識が茨城県・全国平均より約10%高く、よりよい未来にしていきたいと考えている生徒が多いことが分かる。学校では、前期課程の児童も巻き込み、地域社会の課題に目を向けることができるように、地域や社会をよくするための活動を取り入れていく。

④ 学習活動に関する内容について

【令和5年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる 【意欲】	69.8%	80.6%	78.8%	88.4%	81.4%	79.2%
話し合う活動を通して、考えを深めたり、広げたりしている 【思考】	81.4%	80.7%	81.8%	81.4%	78.6%	79.7%
自分の考えがうまく伝わるよう、話の組み立てなどを工夫して発表している 【表現】	60.5%	61.8%	63.7%	62.8%	60.5%	62.1%

【調査結果と今後の取組について】

「話し合う活動を通して、考えを深めたり、広げたりしている」「自分の考えがうまく伝わるよう、話の組み立てなどを工夫して発表している」の調査では、前期課程・後期課程とも、茨城県・全国平均とほぼ同じ割合である。学校では、今後もペアやグループでの話し合い活動を継続して取り入れ、アウトプットを重視した授業を展開していく。「授業では、課題の解決に向けて、自分から取り組んでいる」の調査では、後期課程で茨城県・全国平均より高い割合になっているが、前期課程で茨城県・全国平均よりやや低い割合になっている。学校では、児童生徒が「知りたい、やってみたい、もっと」を思うことができる学習課題を児童生徒とともに作り、学習を進めていく。

⑤ICT を活用した学習活動に関する内容について

【令和5年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
学校では、コンピュータなどの ICT 機器を週1回以上使用している	76.7%	87.9%	86.3%	76.8%	95.7%	87.5%
学校の中でのコンピュータなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思う	97.7%	95.7%	95.1%	93.1%	94.9%	93.3%

【調査結果と今後の取組について】

「学校の中でコンピュータなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思う」の調査では、多くの児童生徒が肯定的な意見をもっている。しかし、「学校では、コンピュータなどの ICT 機器を週1回以上使用している」の調査から、学校で使用している頻度が少ない。これは、ICT 環境がよくなり、授業において使いにくい状況が続いていたからである。そこで、今年度夏季休業中に大規模工事を行い、回線を大幅に増加した。これにより、2学期より授業の中で活用する機会が増えている。今後も、ICT 活用を通して、児童生徒の表現力の育成や情報活用能力の育成に努めていく。

⑥家庭学習に関する内容について

【令和5年度結果】

質問項目	前期課程(小学校)			後期課程(中学校)		
	河内町	茨城県	全国	河内町	茨城県	全国
家で自ら計画を立てて勉強をしている	65.1%	77.4%	70.7%	69.8%	62.0%	55.0%
学校以外で平日1時間以上勉強している	34.8%	60.6%	57.1%	67.5%	68.6%	65.8%
学校以外で平日10分以上読書をしている	58.1%	62.3%	60.0%	39.7%	51.3%	49.4%

【調査結果と今後の取組について】

「家で自ら計画を立てて勉強をしている」の調査では、後期課程で約70%の生徒が肯定的回答をしている。しかし、前期課程では茨城県・全国平均の割合より低い状況である。また、「学校以外で平日1時間以上勉強している」の調査では、前期課程で茨城県・全国平均より大幅に低く、約35%にとどまっている。学校では、自分が興味をもったことについて調べたり、学習した内容について再度復習したりするなど、自主学習を推進している。今後も学校と家庭とで連携し、家庭学習が定着するよう、協力を呼びかけていく。「学校以外で平日10分以上読書をしている」の調査では、特に後期課程で約40%にとどまっている。今年度夏季休業中より、学校の図書室の本を増やし、児童生徒が自ら興味をもって読むことができる環境を整えている。さらに、学校の図書室の環境を整え、読書を推進していく。